

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(令和元年度分)

市民文化部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
1	令和元(2019)年度連携事業の計画等に関する打合せ	4月	大阪国際大学 摂南大学 大阪樟蔭女子大学 追手門学院大学	地域協働センター 研究支援・社会連携センター くすのき地域協創センター 研究・社会連携課	—	令和元年(平成31年)度の門真市と大学との協働事業の年間計画について打合せを行った。	市民生活部 地域政策課	
2	枚方信用金庫でのチラシラックの設置	通年	枚方信用金庫	大和田支店 門真東支店	—	枚方信用金庫にチラシラックを設置し、市政やイベント等について情報周知を行った。	企画財政部 魅力発信課	
3	社会教育委員	通年	大阪国際大学 大阪樟蔭女子大学	人間科学部 学芸学部	船越 達也 萩原 雅也	年3回の社会教育会議を開催し、社会教育に関する意見を頂戴した。	教育部 社会教育課	
4	門真市行政不服審査会	平成30年4月～令和2年3月	摂南大学	法学部	小野 晃正	門真市行政不服審査会、門真市個人情報保護審査会、門真市個人情報保護審査会及び門真市情報公開審査会の委員として従事していただき、門真市行政不服審査会にあつては、審査請求された案件に対し、会議等において調査審議していただいた。	総務部 総務課	任期は令和3年5月まで
5	門真市個人情報保護審議会	平成29年6月～令和元年5月 令和元年6月～令和3年5月						
6	門真市個人情報保護審査会	平成30年12月～令和2年12月						
7	門真市情報公開審査会	平成30年12月～令和2年12月						
8	平成30年度門真市市民公益活動事業報告会	5月	大阪国際大学	人間科学部	西岡 ゆかり	平成30年度門真市市民公益活動事業審査会において審査のうえ補助金を交付した事業を検証するため、専門的な見地から意見を述べていただいた。	市民生活部 地域政策課	
9	門真こども未来応援チャンネルへの出演	5月	摂南大学	理工学部	小林 健治	門真こどもの未来応援チャンネルに小林准教授及び学生にご出演いただき、中塚荘リノベーション事業の取り組み内容について説明をいただいた。	こども部 こども政策課	
1月		追手門学院大学	経営学部 初等中等部	水野 浩児 福田 哲也	門真こどもの未来応援チャンネルに福田室長及び水野教授のもとで学ばれる学生にご出演いただき、プログラミング教室「SKORP」の取り組み内容について説明をいただいた。			
10	環境学習事業 エコッキング講座	5月 11月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—	大阪樟蔭女子大学イキ×ラボ・チャレンジプロジェクトとして学内で学生を公募し、選定された学生が講師となって果物をたっぷり丸ごと使用した「夏だ！果物たっぷりケーキ」、「ライスバーガーを作ろう！！」のエコッキング講座を開催し、実際に食材やフリップを使ってわかりやすく説明を行い、市民に対して環境に対する意識啓発を行った。	市民生活部 環境政策課	
11	キッズサポーター	5月～2月	枚方信用金庫	—	—	登下校時における子どもの安全を確保するため、キッズサポーターによる見守りを行った。	教育部 社会教育課	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(令和元年度分)

市民文化部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
12	めざせ世界へはば たけ事業	5月～2月	大阪国際大学	国際教養学部	久保 由加里	門真市と世界を舞台に活躍するグローバルな人材を育成するため、中学生英語プレゼンテーションコンテストを開催するとともに、中学生海外派遣研修を実施している。 海外派遣研修の委託事業者を選定する中学生海外派遣研修業務委託事業者選定委員会の委員として、委託事業者を選定するため専門家として鋭い意見や指摘を頂戴したことで、選定委員会の質を向上させることができた。 また、第9回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストで審査員としてご協力いただいたことで、公正な審査を行うことができた。	教育部 社会教育課	
			追手門学院大学	国際教養学部	松宮 新吾 原 めぐみ	松宮教授については、海外派遣研修やプレゼンテーションコンテストの事前研修での講師を務めていただき、また、松宮教授のもとで学ばれる学生には、研修の協力やプレゼンテーションコンテスト当日の司会・前説・運営スタッフとして協力いただくことで、研修の質の向上とコンテストの充実を図った。 原講師については、プレゼンテーションコンテストの二次審査とコンテスト当日の審査員も務めていただくことで、審査の質の向上を図った。		
13	門真市スポーツレ クリエーション事業	5月～2月	大阪国際大学	経営経済学部 短期大学部	横山 誠 玉井 久実代	日常的にスポーツをしている人から、普段運動には縁のない人まで、市民の誰もがそれぞれのライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動に参加する機会を確保することで、運動を通じた市民の健康づくりを推進するため、参加者の競技力を高めることに資する競技大会や、スポーツレクリエーション活動のきっかけづくりとして、レクリエーションイベント、令和元年度よりスポーツ教室などを実施した。	教育部 社会教育課	
14	門真市立公民館 運営審議会	5月～2月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	館長の諮問に応じ、公民館等における各種の事業の企画実施につき調査審議した。	教育部 社会教育課	
15	「かどま土曜自学 自習室」サタスタ事 業・まなび舎Kids 事業	5月～2月	大阪国際大学	地域協働センター	—	土曜日午前中または水曜日の放課後に、学校施設等を利用して、児童及び生徒の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動などの取組みを実施することにより、児童等が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。	教育部 社会教育課	
			摂南大学	教職支援センター	大野 順子			
16	大阪府より移管を 受けた住宅の活用 についての取組み	6月～	大阪国際大学	経営経済学部	早川 公	市営門真住宅において、大学および地元自治会と連携し、コミュニティの活性化を目的とした取組みを行った。 具体には、学生が入居者などから団地内の課題等に関する聞き取りを実施し、団地内でできる活性化策等について自治会への提案や、団地内でイベントを開催した。 また、市営住宅の空き住戸を活動拠点として提供した。	まちづくり部 都市政策課	令和2年度も継続
17	「地域課題とボラン ティア活動(旧課程 授業名:くすのき地 域社会論)」におけ る講師派遣	春期:6月 秋期:11月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—	地域社会や地域課題への理解を深め、地域との連携活動の参加を促すため地域づくりに携わる各種団体から講義を実施する「地域課題とボランティア活動」の授業において本市の取組み等について講義を実施した。	市民生活部 地域政策課	
18	門真市教育委員 会点検・評価検討 委員会	7月 8月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、意見や助言等を行った。	教育部 教育総務課	
19	門真市上下水道 事業経営審議会	7月～3月	摂南大学	理工学部	水野 忠雄	門真市上下水道事業経営審議会委員として、上下水道事業の経営に関し、審議をいただいた。	上下水道局 経営総務課	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(令和元年度分)

市民文化部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
20	門真市立図書館協議会委員	令和元年7月～令和3年6月	追手門学院大学	国際教養学部	湯浅 俊彦	門真市立図書館協議会委員として、図書館の運営について審議し、意見交換や助言等をいただいた。	教育部 図書館	
21	「地域社会論」における講師派遣	7月	追手門学院大学	地域創造学部	藤原 直樹	追手門学院大学において、自治体や地域の事業所等で活躍できる人材育成を目指し、行政の地域政策について理解を深めることを目的に実施される地域創造学部「地域社会論」において、本市における公民協働の取り組み等について講義を実施した。	市民生活部 地域政策課	
22	かどま七夕キャン ドルナイト	7月	大阪国際大学	ボランティア活動研究会	—	リサイクルプラザ4階において、笹飾りの展示を実施した。	市民生活部 環境政策課	
			大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—	大阪樟蔭女子大学イキ×ラボ・チャレンジプロジェクト「キャンドルナイト」の学生がリサイクルプラザの活性化に取り組みの一環としてキャンドルの展示を実施した。		
23	大学連携推進に関する市職員研修	8月	摂南大学	理工学部	小林 健治	市政運営の中で大学との連携について、新たな視点での連携や中長期的な連携促進を図るとともに大学の研究・市政の発展に資する連携や学生の新たな学び場づくりに寄与することを目的に、市職員を対象に大学連携に関するメリット等に関し、本市と摂南大学の連携事業を基に講義を実施した。	市民生活部 地域政策課	
24	ふるさと門真まつり 実施事業	8月	摂南大学	経営学部	久保 貞也 牧野 幸志	ふるさと門真まつりのイベントとしてポールプールを行った。 また、来場者に対してアンケート調査を行い、その結果をふるさと門真まつり実行委員会へ報告した。	市民生活部 文化・自治振興課	
			大阪樟蔭女子大学	学芸学部	渡邊 正人	ふるさと門真まつりのイベントとしてメイクアートを行った。		
25	ラブリーフェスタ' 19への参画	10月	大阪国際大学	経営経済学部	田中 優	学生が企画段階から協議会へ参画し、ラブリーフェスタ当日は田中教授の研究室で学ばれる学生が中心となり、アクアボールの運営を行うとともに地域の特産品(奈良県吉野町殿川の完熟山椒)を使用した製品の販売を行った。	古川橋南北地域活 性化協議会	
			摂南大学	経営学部	久保 貞也 牧野 幸志	学生が企画段階から協議会へ参画し、ラブリーフェスタ当日は久保准教授、牧野准教授の研究室で学ばれる学生が中心となり、来場者が幅広く楽しめる遊びの広場の企画・運営を行った。		
26	令和2年度門真市 市民公益活動事 業審査会	10月	大阪国際大学	人間科学部	西岡 ゆかり	令和2年度門真市市民公益活動事業補助金の交付にあたり、客観的な審査を行い、事業の適正な運営を図るため、門真市市民公益活動事業審査会委員として審議をいただいた。	市民生活部 地域政策課	
27	門真市民文化会 館及び門真市立市 民交流会館指定 管理者候補者選 定委員会	10月	大阪国際大学	短期大学部	朝倉 洋	門真市民交流会館及び門真市立市民交流会館指定管理者候補者選定委員会の委員として、指定管理者の選定を行った。	市民生活部 文化・自治振興課	
			大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也			
28	第6回かどまエコ フェスティバル	10月	大阪国際大学	プレッパーズ部	—	門真市立リサイクルプラザ4階にて、来場者に対し防災ランプや新聞紙細工の制作体験講座を実施いただいた。	市民生活部 環境政策課	
29	通路点検マップ作 成にかかるフィー ルドワーク実施	10月	大阪国際大学	プレッパーズ部 地域協働センター	—	自治会の住民が作成している「通路点検マップ」の見直しを行うため、大阪国際大学プレッパーズ部の協力を得て、多様な視点でのフィールドワークを実施し、自主防災活動に取り組んだ。	総務部 危機管理課	
30	公共施設マネジメ ント大学連携事業 「中塚荘プロジェ クト」	11月	摂南大学	理工学部	稲地 秀介 小林 健治	中塚荘の認知度アップと公共空間の魅力向上のため、摂南大学の学生が提案・企画・制作したベンチ、のれんが完成したことから、完成披露イベントを実施した。	まちづくり部 公共建築課	任期は令和2年3 月まで

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(令和元年度分)

市民文化部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
31	門真市総合防災訓練	11月	大阪国際大学	プレッパーズ部 地域協働センター	—	門真市総合防災訓練の展示スペースにおいて、ブース出展(新聞紙スリッパ・皿の作成)いただき、防災意識の醸成にご協力をいただいた。	総務部 危機管理課	
32	絵本の読み聞かせ事業(グリムプロジェクトとの連携)	11月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—	門真市立図書館にて、子どもを対象とした大阪樟蔭女子大学グリムプロジェクトの学生との連携行事「秋のグリム絵本館へようこそ～みんなでおいしい秋を感じよう!～」を実施した。	教育部 図書館	
33	「小学生の主張」	12月～1月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部 地域協創センター	萩原 雅也	「小学生の主張」事業は、本市の小学生が毎日の生活の中で、考えていること・感じていることを自己の主張として文章にまとめ、社会に提言・主張することにより、物事に対する考え方や理解力を高めるとともに、国際社会の中で活躍できる、広い視野と想像力を持ち、主張できる小学生を育成する。萩原教授には「小学生の主張」発表会の審査員長としてご協力いただき、公平な審査をすることができた。受賞者を対象とした特別研修では、田辺聖子文学館学芸員による館内見学・解説、児童教育学部准教授による作文指導をととして参加者の文学・思考力等の向上を図ることができた。	教育部 社会教育課	
34	情報マーケティング特殊講義	12月・1月	追手門学院大学	経営学部	中野 統英	企業や自治体、教育現場等で導入されているIT技術やそれらを用いた現場・応用例に触れることでシステム開発等について学ぶことを目的に開講される本講座において、本市での実用例等について講義を実施した。	企画財政部 企画課 教育部 学校教育課	
35	国づくりシンポジウム 公共施設マネジメントとまちづくり	1月	摂南大学	理工学部	稲地 秀介	稲地先生には、当シンポジウムにおいて公共施設マネジメントとエリアリノベーションについて他のパネラーと議論していただいた。	まちづくり部 公共建築課	
36	SKORP プログラミング教育推進にかかる協働事業	1月	追手門学院大学	経営学部 ロボット・プログラミング教育推進室	水野 浩児 福田 哲也	ソフトバンクより門真市をフィールドとしたプログラミング教育の推進に関する相談を受け、産官学の連携事業として追手門学院大学の協力を得て、北巣本小学校6年生を対象に追手門学院大学の学生が講師となり、児童にプログラミング教育の支援を行った。	教育部 学校教育課 ソフトバンク株式会社	
37	子育て支援員研修(地域型保育)の実施	11月～12月	大阪国際大学	短期大学部	久保田 健一郎 他4名	門真市内に在住または在勤の方で、保育や子育て支援の仕事に関心があり、市内で保育や子育て支援の分野に各事業に就労することを希望する方を対象に、国の定める「子育て支援員研修実施要綱」において規定される研修科目に基づき、子育て支援員研修(基本研修及び専門研修【地域保育コース(地域型保育)】)を全6回の講座にて実施した。	こども部 こども政策課	
38	門真市文化芸術推進審議会	11月 2月	大阪国際大学	短期大学部	朝倉 洋	令和元年度門真市文化芸術推進審議会委員として、主に門真市文化芸術推進計画等文化芸術の推進について審議し、意見交換や助言を行った。	市民生活部 文化・自治振興課	

※大学の学部や企業、事業所管等の組織名称は令和元年度(平成31年度)時点の名称としています。